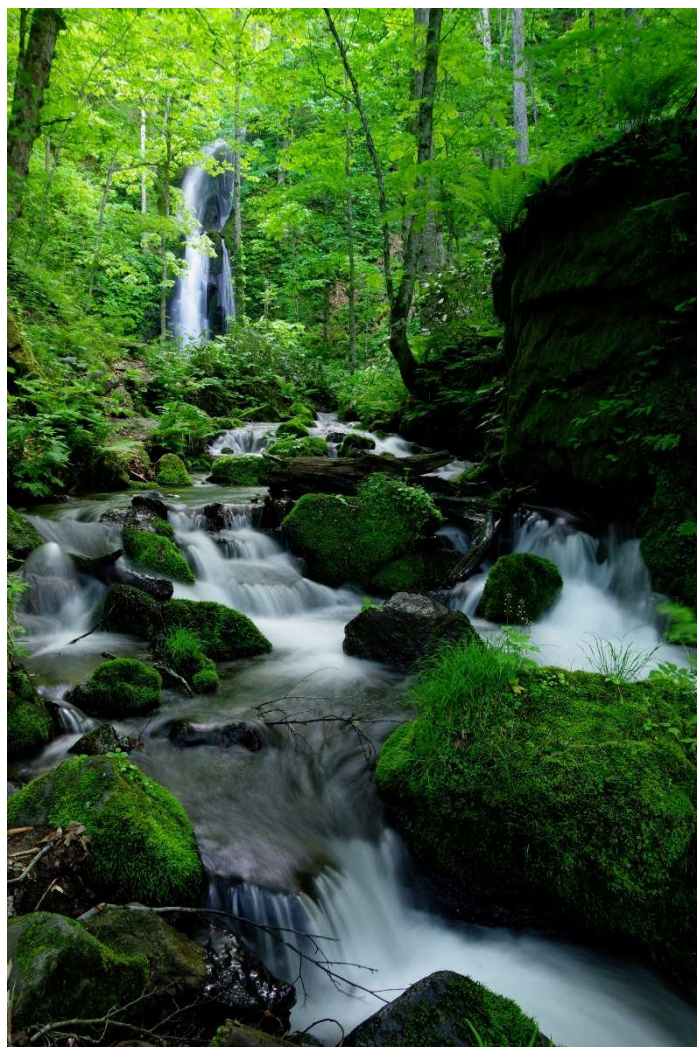


# 三八上北の国有林



初夏の奥入瀬溪流（十和田市惣辺山国有林）



日本の緑・国有林

林野庁・東北森林管理局

三八上北森林管理署



# 三八上北森林管理署では、次のような取り組みを行っております。

## 1 公益重視の管理経営の推進

○山地災害に対する復旧対策を進めるとともに、集中豪雨や流木等被害に対する山地防災力を高めるため、事前防災・減災防災を推進し、引き続き下流域の安心・安全に務めます。また、奥入瀬溪流等の観光地では、景観の保全や騒音対策等についても一層の配慮をしながら事業を実施します。

○松くい虫等の病害虫対策とニホンジカ被害対策については、日常の巡視強化による早期発見、被害防止に向け、民有林と連携した取組を進めていきます。

センサーカメラが捉えたニホンジカ



地すべりを防止する集水井工



周辺景観に配慮し木材を利用した谷止工

## 2 林業の成長産業化への貢献

○利用期を迎えた森林資源を循環利用し、計画的な木材供給に取り組みます。安全性・効率性の良い列状間伐及び主伐・再造林の推進等、多様な森林整備を推進します。

○一貫作業システム箇所ではコンテナ大苗の植栽試験を実施し、下刈回数省略の検証、生長量調査を実施します。また、下刈作業の平準化を目的に作業適期の拡大試験を実施します。



列状間伐（1伐2残）



コンテナ苗の植栽

生産量		
年度	実行数量	備考
R1	52,558m <sup>3</sup>	実績
R2	40,290m <sup>3</sup>	//
R3	54,000m <sup>3</sup>	予定

※R3.4.1当初予定

## 3 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

○国民参加の森林づくりの推進のため、市民団体等の美化活動を積極的に支援するとともに、「社会貢献の森」での活動への技術指導のため職員を派遣しています。

○森林環境教育の場としての国有林野の利用を進めるため、森林環境教育のプログラムの整備、フィールドの提供等に取り組んでいきます。「ふれあいの森」等の協定に基づく植樹活動等へ技術指導のため職員を派遣しています。



小学生にハーバスタの仕組みを説明



カナかけ体験



海岸林でクロマツコンテナ苗を体験植樹



# 1 国有林の現況

さんばちかみきた

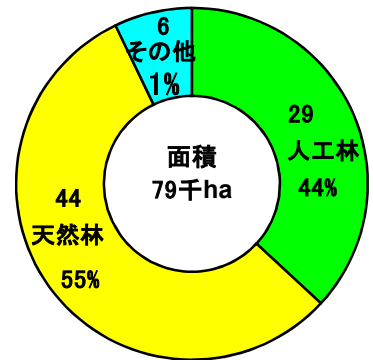
三八上北森林管理署は、青森県の南東部にあり、下北半島の付け根から八甲田山と十和田湖の東側を経て、岩手県境に至る、3市11町2村（三八上北森林計画区）の国有林、約79,000haを管理しています。

森林は、太平洋岸にある低山帯の防風林から、八甲田山系・高田大岳（1,552m）などの高山帯におよび、スギやアカマツの人工林の比率が4割、ブナやヒバを主体とする天然林が6割を占めています。

## <管内の市町村>

十和田湖と奥入瀬溪流の「十和田市」のほか、「八戸市」、「三沢市」、上北郡には、菜の花で地域活性を図る「横浜町」、交通の要衝「野辺地町」、東北新幹線の駅がある「七戸町」、風力発電などの「六ヶ所村」、ナガイモの「東北町」のほか、「六戸町」、「おいらせ町」、三戸郡には、ニンニクの「田子町」のほか、「三戸町」、「新郷村」、「五戸町」、「南部町」、「階上町」があります。

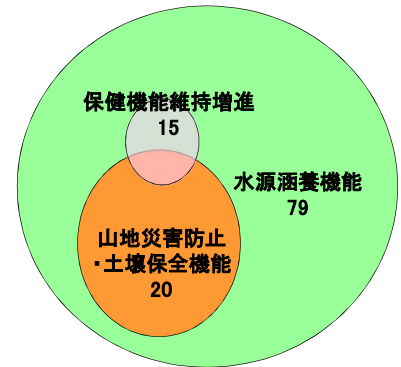
人工林・天然林別の面積(千ha)



# 2 森林の取扱い

国有林では森林の役割に応じて「水源涵養」「山地災害防止/土壌保全」「快適環境形成」「保健」の4つの機能に分け、それぞれに適した森林の管理・経営を行っています。

公益的機能別施業森林の内訳(千ha)



## 水源涵養機能

草や木の根により、水を蓄える隙間に富んだ土壌を有する森林

### <水源林>

地域住民の生活用水や農業用水を供給する「水源林」としての役割はたいへん重要です。奥入瀬川流域の森林を水源としている稲生川（人工河川）は、今から約150年前に、三本木原（十和田市）の開拓のため、南部盛岡藩士・新渡戸傳（稲造の祖父）から3代で開削したもので、現在約6千haの田畑を潤しています。

## 山地災害防止/土壌保全機能

森林の中に適度な光が射し込み、草や木の根が深く広がって土壌を保持する森林。必要により山地災害を防止する施設を整備

### <治山事業>

この地域では、八甲田山など火山性の地質による泥流・地すべり災害、山間部での集中豪雨による土砂災害の危険があることから、地域住民の安全確保のための治山工事や森林整備を行っています。





## 保健・快適環境形成機能

〔自然とのふれあいの場として利用したり、自然景観や歴史的風致、原生的な森林生態系、希少な生物がいる森林〕

八甲田山、十和田湖、奥入瀬溪流に代表される十和田八幡平国立公園、山岳・湖沼など豊かな自然を背景とした観光資源に恵まれており、四季を通じて大勢の皆さんが訪れます。

### 〈レクリエーションの森〉

国有林では優れた景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定しています。

迷ヶ平自然休養林（407ha新郷村・三戸町）のほか、野外スポーツ地域として野辺地スキー場（46ha野辺地町）があり、地元市町村、事業者等により様々な施設が整備されています。



イチヨウラン



迷ヶ平自然休養林



野辺地スキー場野外スポーツ地域

### 〈森林ボランティア〉

国民参加の森林づくりの場として「ふれあいの森」（3.48ha）「社会貢献の森」（3.90ha）を設定し、様々な団体、企業の社会貢献等による森林ボランティアを受け入れています。



「ふれあいの森」での活動



「社会貢献の森」での活動

### 〈森林環境教育〉

三本木高校附属中学校による「遊々の森」（5.75ha）や、法奥小学校での森林教室など、森林を活用した教育を支援しています。



法奥小6年生 丸太生産現場を見学



法奥小3年生 森のたんけん学習



附属中学校遊々の森「夢と生命の森」



## ＜貴重な生態系の維持＞

生物多様性の維持も国有林の重要な仕事です。

原生的な自然環境の保全や貴重な野生動植物を保護するため、「八甲田山生物群集保護林」（3,823ha）に指定しています。

また、野生動植物の移動経路などを確保するため、奥羽山脈から白神山地へ至る70km、7,508haを「奥羽山脈緑の回廊」と「白神八甲田緑の回廊」に指定しています。



八甲田・高田大岳（十和田市）

緑の回廊位置図



「奥羽緑の回廊」案内看板（新郷村）

## 3 森林・林業の再生への取り組み

民有林と連携した事業の効率化、路網整備の整備、木材の協調出荷等による低コスト化を実現するための森林整備推進協定に基づいた森林共同施業団地の取り組み、コンテナ苗を使用した伐採から地拵、植付までを実行する一貫作業システム、立木販売の売買契約と伐採後の造林事業の請負契約をセットで行う混合契約等を推進して、森林・林業の再生に貢献していくこととしています。



一貫作業システム（七戸町）



「東北町西部地域森林整備推進協定」締結式（東北町）

## 4 国有林野の活用

国有林野の活用にあたっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付け等を行っています。



地元要望を受け六ヶ所村に貸付けた登山道（ぼんてん山）



風力発電（六ヶ所村）

令和3年度主要事業量（当初）

収			穫			量			単位
立木販売・保育間伐ほか			製品生産資材			計			m
主伐	間伐	計	主伐	間伐	計	主伐	間伐	計	
192,898	0	192,898	7,906	89,901	97,807	200,804	89,901	290,705	

製品(丸太)販売量(m <sup>3</sup> )				造林量(ha)				
委託販売	システム販売	計	(当年度生産量)	新植	下刈	除伐	除伐Ⅱ類	本数調整伐
16,500	37,500	54,000	(54,000)	66	475	272	4	0

担当森林事務所と管内市町村の国有林野面積(ha)

森林事務所	担当区	市町村名	国有林野	官行造林地
			面積	面積
奥瀬	奥瀬	十和田市	5,110	312
		三沢市	266	
法量	法量	十和田市	7,963	88
		八溪山	7,590	
八溪山	八溪山	十和田市	7,590	
		十和田	7,167	
田子	田子	田子町	7,339	168
		田子町	2,337	315
戸来	猿辺	三戸町	1,541	23
		南部町		73
		階上町		96
		戸来	2,927	335
野辺地	野辺地	東北町	2,619	
		野辺地町	1,986	
	横沢	東北町	2,344	
		野辺地町	9	
北坪川	北坪川	東北町	74	
		七戸町	6,747	
		乙供	1,094	
七戸	七戸	七戸町	8,092	145
		六ヶ所	5,762	
六ヶ所	六ヶ所	六ヶ所村	2,988	
		室ノ久保	5,160	
横浜	横浜	横浜町	5,160	
計			79,115	1,555

市町村別面積再掲(ha)

市町村名	国有林野	官行造林地
	面積	面積
十和田市	27,830	400
三沢市	266	0
田子町	9,675	483
三戸町	1,541	23
南部町	0	73
階上町	0	96
新郷村	2,927	335
東北町	6,131	0
野辺地町	1,995	0
七戸町	14,839	145
六ヶ所村	8,750	0
横浜町	5,160	0
計	79,115	1,555

※令和2年3月樹立  
「第6次国有林野施業実施計画書」参照

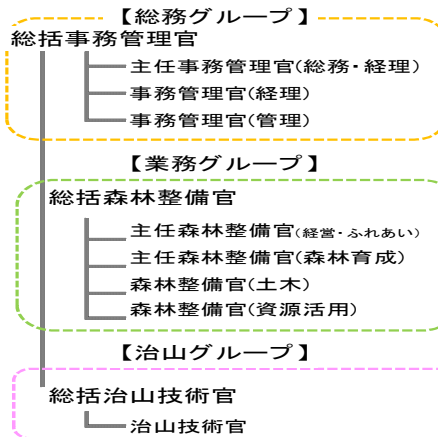
組織

(令和3年4月1日現在)

署長

次長

- 森林技術指導官
- 【森林事務所・森林官】(所在地) 電話番号
- 奥瀬(十和田市奥瀬) 0176-72-2120
- 法量( " ) "
- 八溪山( " ) "
- 野辺地(野辺地町) 0175-64-2180
- 北坪川(七戸町森ノ上) 0176-68-2149
- 七戸( " 笹田) 0176-62-2945
- 横浜(横浜町屋敷形) 0175-78-2212
- 六ヶ所(六ヶ所村尾駈) 0175-72-2036
- 田子(田子町田子) 0179-32-3311
- 戸来(新郷村戸来) 0178-78-2014



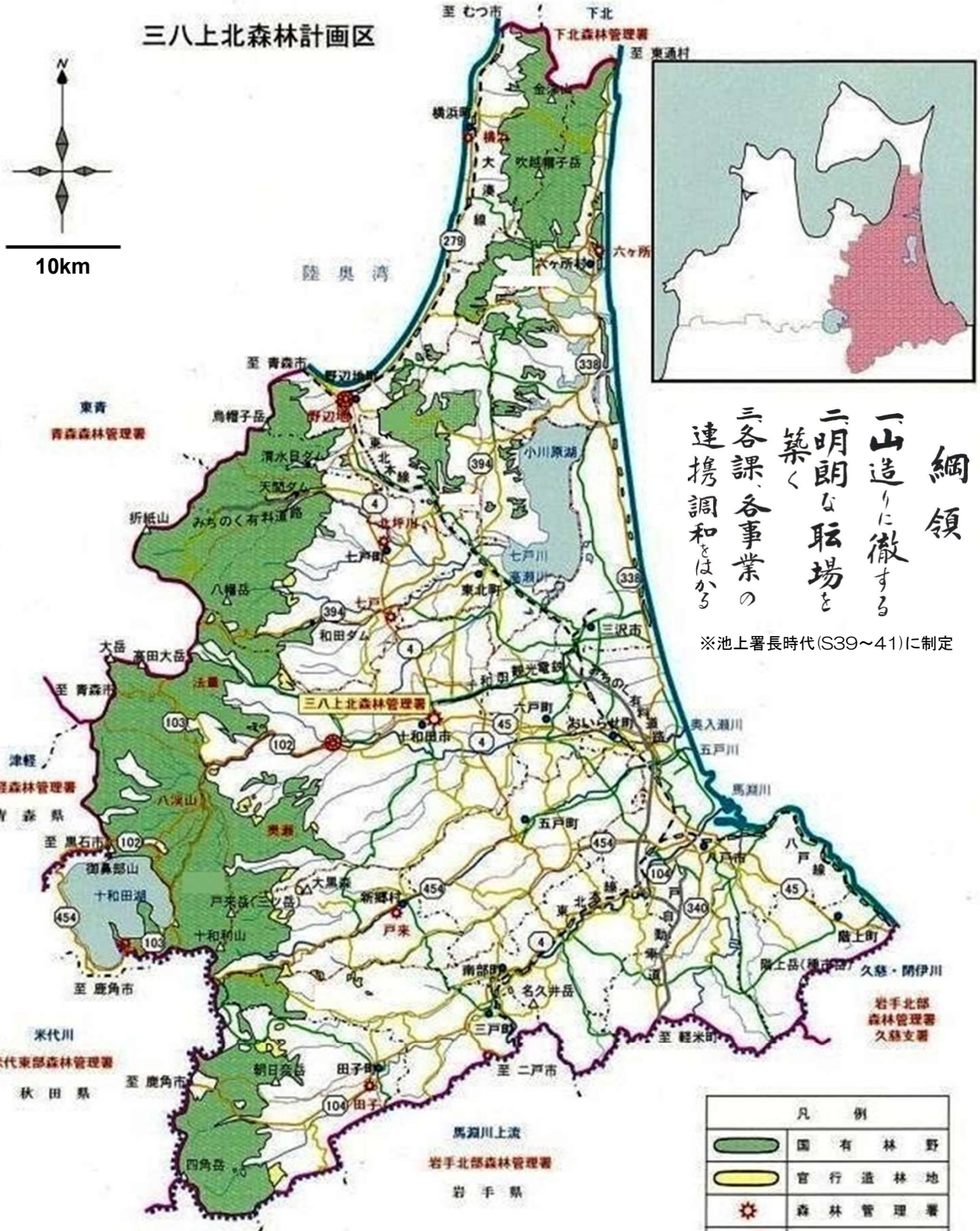
職員数	
本署 (十和田市)	18
森林事務所	7
再任用	2
計	27

三八上北森林管理署の歴史

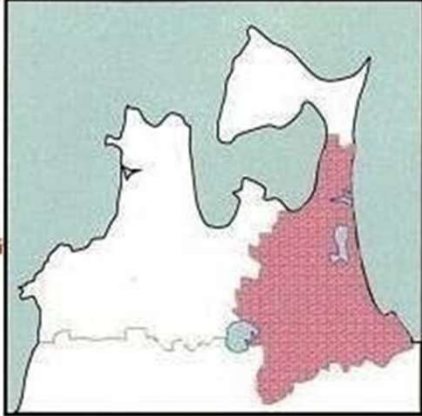
- 明治14(1881)年 農商務省山林局設置
- 19(1886)年 青森大林区署五戸派出所として開庁、明治25(1892)年 奥瀬小林区署と改称
- 40(1907)年 法量小林区署、五戸小林区署と合併し、三本木小林区署と改称
- 大正 3(1914)年 現在地に庁舎建造
- 13(1924)年 官制が改められ青森営林局三本木営林署と改称
- 平成11(1999)年3月1日 組織再編により三八上北森林管理署と改称し、野辺地営林署を野辺地事務所に、三戸営林署を三戸事務所に改組
- 13(2001)年8月1日 組織の再編により野辺地事務所及び横浜森林管理センターの一部を統合し、三八上北森林管理署及び三戸事務所に再編
- 16(2004)年3月31日 組織再編により三戸事務所を統合
- 19(2007)年2月 庁舎建て替え



# 三八上北森林管理署管内図



三八上北森林計画区



**綱領**  
 一山造りに徹する  
 二明朗な職場を築く  
 三各課、各事業の連携調和をはかる

※池上署長時代(S39~41)に制定

凡 例	
	国 有 林 野
	官 行 造 林 地
	森 林 管 理 署
	森 林 事 務 所・合 同 事 務 所
	森 林 計 画 区 界・署 界
	県 界
	市 町 村 界
	森 林 事 務 所 界

三八上北	森 林 計 画 区 名
	市 役 所・町 村 役 場
	国 道・県 道・そ の 他 道



## 三八上北森林管理署案内図



林野庁  
東北森林管理局  
三八上北森林管理署

〒034-0082 青森県十和田市西二番町1-27  
電話 0176-23-3551 FAX 0176-24-2020  
メール: t\_sanpachi@maff.go.jp  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/sanpati/>